

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		下水道事業会計 [雨天時浸入水調査委託]							
予算科目	款 1	下水道事業費用	項 1	営業費用	目 1	管渠費	事業番号		
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	下水道		課		業務		係	課長名	廣瀬 裕
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 1	
【施策名】 市街地の整備							総合計画書 (ページ)	83	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	雨天時浸入水(不明水)の浸入場所の特定 区域の絞り込み→第1回目				9箇所 →				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
	雨天時浸入水(不明水)をなくす。				9箇所 →				
	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
	雨天時浸入水調査委託				9箇所 →				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	箇所	0	0	9箇所			
	成果指標	②の数値	箇所	0	0	9箇所			
	目 標	②の目標値							
		目標値設定の考え方							
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	4,620,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円			0			
		特定財源(国・都・他)	円			4,620,000			
		(うち受益者負担)	円						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人			0.1			
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円			838,000			
		職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費		円	0	0	5,458,000				
4 環境変化等	(1) 開始年度		令和2 年度						
	(2) 環境の変化								
	・特になし								

事業名称	下水道事業会計 [雨天時浸入水調査委託]			
担当部署・課長名	下水道	課	業務係	課長名 廣瀬 裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	・特になし	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	☐ 取り組んだ	取組手法：
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。	
	・特になし	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
	施策名： 市街地の整備 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止	
	【取組内容】 雨天時浸入水(不明水)の浸入場所の特定 区域の絞り込み→第2回目を令和3年度に実施予定	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	